

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。令和8年の新春を迎え、在ペナン日本国総領事館を代表して在留邦人の皆様とご家族に心よりご挨拶申し上げます。旧年中は総領事館の活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝いたします。



「激動の1年でした」というのが毎年の決まり文句になっているようなところがありますが、昨年も世界及び日本の政治及び経済において様々な動きがありました。ロシアのウクライナ侵攻が継続し、ガザでの「戦争」が継続し、また、関連してイラン核施設への限定攻撃がなされました。また、米国トランプ大統領の関税を武器とする「アメリカ・ファースト」の動きが様々な意味で世界を席卷しました。また、我が国の近隣地域における安全保障環境は益々厳しいことになっております。

我が国においては、9月に悠仁親王殿下の成年式という大変喜ばしい出来事がありました。国民の弥栄のみを祈られる天皇陛下及び皇室の皆様という伝統に根ざした核が我々にはあり、その上で、民主主義・法の支配・人権の尊重という価値観、開かれた情報と議論、及び我が国独自の伝統と文化の尊重をもって世界で咲き誇る日本でなくてはならないと考えているところです。この中で、我が国においては、内外の情勢を踏まえて、何回か民意が表明される機会があり、石破政権に替わって高市内閣となりました。我が国政治について深く言及することは避けるべきではありますが、我が国の強靱な民主主義体制の中に生きる広範な国民の皆様が歪みない情報を与えられ、我が国の今後について素晴らしい選択をされていくことを一国民としても祈っております。

さて、日本・マレーシア関係については、令和7年には2回の総理訪問があり、経済・投資、エネルギー・環境、防災、教育・人的交流など多面的な協力が進展しており、両国の連携強化は地域の安定と繁栄に資するものです。日本とマレーシアは、基本的な価値観を共有するインド大洋州地域における自然な地政学上の友人であります。今後、レアアースや半導体等経済安全保障上重要な案件について更に連携していくこともあろうかと思えます。

在ペナン総領事館としても、領事業務・日本企業支援業務を引き続き「一丁目一番地」の業務としつつも、当地において日本の「ソフト・パワー」を高

め、また、日本の存在感を高めるための努力を継続してまいります。具体的には、日本文化紹介事業の更なる振興、学術交流事業の側面支援などでありま
す。特に１９７０年以降に当地の方々と日本の間に築かれた良好な関係の故に
構築できる広範な人脈を結び付けることによって、日本ならではの価値を創出
するための礎になりたいと考えています。

私のモットーは、「日本とマレーシア／ペナンをより良く結ぶ（to better
connect Japan and Malaysia/Penang）」であります。そのために、微力ながら
も、全力を尽くしていきたいと考えております。皆様のために必要な、また、
有益な情報もどんどん発出していきたいと考えております。是非とも、この１
年も総領事館に対してご指導、ご鞭撻を賜れば幸いです。

結びに、在留邦人の皆様とご家族のご健康とご多幸、そしてペナンと日本の
一層の友好と発展を心より祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し
上げます。

令和８年１月５日

在ペナン日本国総領事 町田信也